

平成 30 年 8 月 16 日
日本船主協会 海務部

神戸大学海事科学部 オープンキャンパスに協力

日本船主協会では、平成 20 年 7 月に人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

今般、平成 30 年 8 月 9 日(木)に、神戸大学海事科学部（深江キャンパス）においてオープンキャンパスが開催され、当協会は広報活動の一環として協力しました。

当協会は、同学部卒業生が多く進んでいる海事クラスターの業界団体として「業界相談コーナー」に協力し、展示相談ブースでの対応を行いました。

当協会の相談ブースでは、仲濱匡純 二等機関士（株式会社商船三井）が、オープンキャンパスに訪れた中高生や保護者約 40 名の質問にそれぞれ応えました。

「航海士・機関士の業務内容や乗船スケジュール」や、「船上の働く環境」、「働く上で楽しいこと、大変なこと」、「必要とされる英語のレベル」などの仕事に関する質問や、「大学入試に向けて必要なこと」、「大学生活について」など、幅広い質問が寄せられました。訪れた中には、将来は船で働いてみたい、あるいは船に興味があるという学生も多く、神戸大学の OB である仲濱二等機関士の貴重なお話を真剣に聞く姿が印象的でした。参加者にとって、船員という仕事を知ることができるとともに、自身の将来を考える有意義な時間となりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



相談ブースにて、参加者と質問に応える仲濱二等機関士の様子